

昭和十九年九月二十五日

第三十三特根多員派遣隊

戦闘詳報 一號

昭和十九年九月二十四日付

第三十三特根

CAPTURED AT
+ Acc 03 Am
24, Oct 1944

27822

1731

(目次)

一 形勢

二 方針

三 経過

四 合達報告等

五 戦果及被害

六 戦力及兵力現状

七 功績

八 参考

一 戦訓
二 地圖

(目次終)

昭和十九年九月二十四日対空戦闘詳報 第三十三特根ヲクハニ派遣隊

一 形勢

○發動前ニ於ケル敵ノ兵力配備行動及企図

敵ノ対比反攻作戰ハ逐日熾烈化シ九日ヨリミンダナオ島南方ニ出現セル敵機動部隊ハミンダナオ島各地ヲ襲撃シ比島東方海上ヲ逐時北進十日以降三日間ニ亘リ其ノ艦載機ヲ以テレイテ島地ヨセブヨバブドヨククロバンノ襲撃ヲ十七日以降B-24一機乃至三機ヲ以テ晝夜ノ別ナク偵察セリ敵ハ有カナル機動部隊及攻撃部隊ヲ以テ十五日朝以來ヨパラオ島諸島ヨベリユイ島ヨハルマヘラ島ヨモロタイ島南岸ニ上陸ヲ開始シ同方面ニ激戦展開中ナリ九日以來比島ニ対スル空襲ハ斯ル上陸作戰ヘノ準備ト判

断セラル敵機動部隊ハ四群程度ニシテ空母ハ有スルモノ
如シ

地區内匪團ニハ著変ヲ認メザルモ各地ニ於テ交通ヲ妨害シ
通信線ヲ切斷スルト共ニ小教部隊ニ対シテ來襲セル程度
ナリ

日發動前ニ於ケル我軍兵力配備及行動

准士官以上九名 下士官兵二五三名 海軍巡查四五名

八八式七輝野戰高射砲 五門

九三式十三耗單裝機銃大型 二基

九二式七、七耗機銃 七基

九七式二米高角測距儀 一基

二式陸用高射装置 一基

三六六交流發電機 二基

砲台陣地

十二煙高自双眼望遠鏡

一基

九月十四日對空戰鬥終了以來 第三防空配備

九月二十四日當隊見飛所ヨリヨ三。〇度方向高度四五。〇

米敵大編隊見ユ、報告ニ依リ直クニ總員配置ニ就ク

〇天候及戰場ノ情况

天氣晴朗期ナレ共北北西ニ積乱雲有リ

敵機二十数機、編隊ヲ以テ〇七三五三。〇度方向ヨリニ

〇度方向ニ進ムコト數回。今ニ敵カラマニ戰鬥機七機編

隊ト艦爆二十機編隊ヲ以テ砲台上空通過ノ如ク見セカケテ

機編隊急衰一學急降下ヲ以テ砲台ニ來襲スル外二十機

編隊ハ上空旋回機毎ノ編隊ノマ、飛行場及附近建築

物ニ來襲セリ、我が防空砲台ハ急降下スル敵機ニ對シ應

戦ス

ヲフロパン地區飛行場及砲台位置別圖、如シ

ニ 計畫

① 任務企圖

第三十三特別根拠地隊司令官命令

第二警戒配備トナセ

特令ナケレバ別ニ十三日以降 毎日0.500ヨリ0.800迄 第一

配備以後等ニ配備

自隊ノ作戰計畫

防空任務對空見張及地上警戒

第二防空配備

各砲銃ニ直配備 見張ニ直配備
地上警戒

② 作戰準備

① 搜索偵察及情報蒐集

第三南遣艦隊自西方面艦隊三十三特報三十三特報等及セブ
 スリガオ、スルワン、レガスピトバカグ、ブーラン等ノ通信情報ニ依ル外
 他方陸軍垣師團情報部ト常ニ緊密ナル連絡ヲナシ居レリ
 九月二十三日バダグ見張所ヨリ通信ニテ
 『我東海面ヨリ砲撃ヲ受クニ〇三〇』
 『敵艦數隻ノモノカシニ一一〇』
 『敵上陸ノ形勢ヤキモ警戒中被害ナシニ一〇』
 『砲撃止ムニ一一五』
 九月二十四日バダグ及ブーラン見張所ヨリ通信ニテ
 『方位ニ〇度四〇射大砲ヲ進行方向北〇六三』
 『敵小型機進行方向西南(バダグ見張所)』
 『敵飛行機見ユ大砲ヲ進行方向西南〇七二〇』
 『敵艦上機一〇ヲロバン方面ニ向テ〇七二五(ブーラン)』

④ 作戰兵力、移動集中、展開

敵空襲ニ対シ、指揮小隊、射撃小隊、防空配置（砲台）

彈藥小隊一部砲台へ彈藥補給大部へ使用不能、

野高三番砲員ト合シテ新ニ出撃セル三十三特根タク

ロバン機銃隊、十三機機銃六基ヲ使用

照空小隊一部昼間、場合照燈ヲ避退大部へ新

出撃機銃隊、十三機機銃八基ヲ使用

海軍巡查隊ハ土匪來襲ニ備、陸戰隊トシテ待期

三 經過

① 百隊 戰鬥經過

月 天 候 刻	百隊 戰鬥經過
------------------	---------

昭和十九年九月廿四日

〇七三五

配置ニ就ケ

〇七四七

通過敵戦爆編隊機ニ五機 三〇〇度ヨリ三〇〇度方向ニ進ム

〇七五一

通過敵戦爆編隊機一〇機 三〇〇度ヨリ三〇〇度方向ニ進ム

〇七五九

通過敵戦爆編隊機一四機 三〇〇度ヨリ三〇〇度方向ニ進ム

〇八一五

通過敵戦爆編隊機一〇機 三〇〇度ヨリ三〇〇度方向ニ進ム

〇八一七

対空戦闘

来襲敵グラマン戦闘機七機

打方始メ

砲台上空ヨリ砲台附近焼夷彈投下機銃掃射

敵グラマン戦闘機七機編隊ト二十機編隊ヲ以テ砲台上空

通過ス如ク見セカケ上機編隊 其来一考急登下砲

晴

〇八三〇

附近ニ來襲スル外ニ十編隊ハ上空旋回四機毎ニ編隊ノ
マ、飛行場及附近建築物ニ來襲セリ
打方止メ
被害状況

ニツバ式自動車ノ庫一棟燒失 建築用竹材若干燒失
投下燒夷彈(三キロ)約二〇〇程度ナルモ不發彈多數有
來襲敵戰爆編隊機二機
飛行場及砲台附近機銃掃射
被害状況

我方人員兵器異状ナシ
戦果

敵機撃墜 二機 (陸軍監視所確認)
敵機撃破 一機

1740

晴

發射彈數

一番砲 一〇發

二番砲 九發

四番砲 六發 計四二發

五番砲 九發

六番砲 八發

長谷川小隊 五〇發

岩村小隊 二七八發 計七七八發

〇八三五

通過敵機 敵戰爆編隊機一三機

三六〇度方向ヨリ九〇度方向へ去ル

〇八四〇

対空戦闘

通過敵戰爆編隊機一三機 九〇度方向ヨリ砲台上空通過

一三五度ヲ左旋四二〇度方向へ去ル

○九〇五	通過敵機二機。度ヨリ左ニ進ミ四五度方向へ去ル
○九一〇	通過敵機二機。九。度方向ヨリ砲台上空通過ニ七。度へ去ル
○九一五	通過敵機一機。砲台上空旋回一八。度方向へ去ル
○九二八	通過敵機四機。夕フロパン上空通過四。度へ去ル 配置ニ就テ対空戦闘
○九三五	来襲敵機四機。一三五度方向ヨリ飛行場急降下機銃掃射 通過敵機八機。二。度方向ヨリ夕フロパン上空通過 行方止メ 發射彈數
晴	長谷川小隊 九六發 岩村小隊 一五八發 計二五四發
被害状況	人員兵器異状ナシ

〇九四七	配置ニ就ケ
〇九四八	來襲敵機 戰爆聯合編隊 一四機 打方始ノ
〇九五〇	ニ。度方向ヨリ來襲タリパン上空ニテ喪針四。度方向ニ去ル 打方止ノ
晴	發射彈數
	一番砲 三發 二番砲 二發 四番砲 二發 五番砲 二發 六番砲 四發 計一三發
被害状況	人員兵器損失ナシ

一〇〇〇	配置ニ就ケ
一〇〇〇	通過敵機ニ機三四。度方向ヨリ三五度方向へ去ル
一〇〇〇	打方止メ
一〇二五	配置ニ就ケ
一〇二五	通過敵機ニ機九。度方向ヨリ北西ニ進ム
一〇二五	配置ニ就ケ
晴	通過敵機ニ機二四。度方向ニ現レ砲台上空ニ來襲
一〇二五	通過敵機ニ機二四。度方向ニ現レ砲台上空ニ來襲
一〇二五	打方始メ
一〇二五	四機ヲバン市巾及水上基地附近機銃掃射
一〇二五	打方止メ
一〇二五	先敵大編隊五。度方向ニ逃走
一〇二五	發射彈數

晴

<p>一番砲 四發</p>	<p>二番砲 二發</p>	<p>四番砲 二發</p>	<p>五番砲 二發</p>	<p>六番砲 三發</p>	<p>一 二 二 〇</p>
<p>計一三發</p>					
<p>既置ニ就ケ</p>					<p>通過敵機四機 ニ上ノ度方向ヨリタノパン上空通過ニ。度ハ去ル</p>
<p>打方止メ</p>					<p>対空戦闘</p>
<p>通過敵機二機 ハ。度方向ヨリニ。度南西ニ去ル</p>					<p>打方止メ</p>
<p>既置ニ就ケ</p>					<p>通過敵機一機 ハ。度方向ヨリセ。度方向ニ去ル</p>
<p>一 二 三 〇</p>					
<p>一 三 五 〇</p>					

一四〇二

配置ニ就ケ

一四〇七

來襲敵機ニ機三。度方向ヨリ砲台上空旋回三。度方向へ去ル

一四三九

打方止メ
配置ニ就ケ

スコール有

通過敵機一ニ機九。度方向ヨリ一七。度方向へ去ル

一五〇八

通過敵機三機九。度方向ヨリ二〇。度方向へ去ル

一六〇〇

通過敵機二五機一八。度方向ヨリ左ニ進ム

小・雨

通過敵機四七機二七。度方向ヨリ右ニ進ム

一六四〇

通過敵機一九機一八。度方向ヨリ右ニ進ム

本日發射彈數計

野高彈 六八發

機銃彈 一〇三三發

戰果

撃隊正 二機
撃破 一機

被害状況

人員兵器異状ナシ

ニッパ式自動車、庫一棟及建案用竹材若干焼失

來襲敵機 八二機

通過敵機 三三五機

ニ作戦ニ影響ヲ与セル事項

バダグ、ブーラン見張所ヨリ、方位ニ。度四。并大編隊進行
方向北〇六三五。敵飛行機大編隊進行方向西南〇七
二〇。敵艦上機一〇。タクロバン方面ニ向テ〇七三五等、通
信ヲ受クルモ通信ヨリ先キニ敵機來襲スル傾向ニアリ

隊員敢闘精神漲、士氣益々旺盛ナリ

四、今達報告及通報

卷末別紙ノ如シ

五、戦果及被害

戦果

撃墜 二機

撃破 一機

飛行場ヲ銃撃セル敵編隊機ハ百米程度迄急降下ヲ敢行ス我ガ飛行場内我銃陣地ハ有効的確ナル命中彈ヲ浴セ敵ガラマン戦鬪機二機ハ九〇度方向ニ水平儘避退セルモ海中ニ墜落セリ(陸軍監視所ヨリ報告有リ)尚高射砲彈光ニヨリ一機撃破

被害

砲名上空ヨリ急降下突入セル敵グラマン戦闘機七機
編隊ハ機銃掃射ト共ニ三挺焼夷弾約二百個以上投
下セリ

焼夷弾投下後ニ三、兵舎屋上ニシテ火災ヲ起シカケタルモ
直ニ警備隊、防火訓練ヲ用テ事ナク此ヲ消止メタ
ルモノツバ式自動車々庫一棟ヲ焼失スル外、建築用木
竹材若干ヲ焼失セリ
其ノ他人員兵器異状ナシ

六、我が兵力ノ現状

九月十二日戦闘ニ於テ敵爆撃機ノ片ノタメ野高一門使
用不能(砲身破損)ト爲リタルモ、野高五門、他九三

式十三耗單裝機銃大型ニ基又九三式七七耗機銃七基外
 三十三特根ノコバン派遣機銃隊トシテ新ク到着セル部隊ノ
 吳峇中九三式十三耗單裝機銃大型十四基ヲ設置ス
 初対空戦闘以來連日連夜飛來スル敵機ニ対シ敵愾心
 ノ焰ヲ燃マシ一度火蓋ヲ切ルマ勇戦奮闘セル我が將
 兵ノ士氣益々旺盛見敵必殺ノ剛魂愈々烈々タルモノアリ

七、功績

特記事項ナシ

八、参考

- (一) 戦訓 卷末ニ附シアリ
- (二) 地圖 卷末ニ附シアリ

三令達報告等	發 宛 日通時 達 受 宛 日通時	令達報告等	種別
第九十五防空隊長 第三南遣隊長	第九十五防空隊長 第三南遣隊長	G報告タクソク九五防空隊三三三隊派遣 隊航空基地派遣隊連級基地隊 ハ三六九ハ三托單三ハ大發一	開送信
第九十四〇〇	四日一〇四〇被我不明大型機西方ヨリ飛來高度 八三〇米一〇四五雲中ニ去ル五日〇九二五被我 不明大型機一機北方ヨリ飛來高度一〇〇〇米 以上飛行場周辺偵察上〇九三五南西ニ去ル 〇九五七再ヒ北方ヨリ飛來一〇〇〇南西ニ去ル	作緊急	緊 急
第九六 第三南遣艦隊 タクソク六三基地	HAB 電令作第三八號 一本月六日二四〇〇頃ペリリヤツ敵機動 部隊攻撃ヲ受テタリ	作緊急	作緊急

<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>
<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>
<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>
<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>	<p>九七 三十三特根參謀</p>

ニ明七日菲島方面機動部隊來襲對シ
嚴戒ヲ要ス

局地防備指導班(阿部中將一行)

行動予定ヲ左ノ通リ変更

七日九〇〇レガスピニ向ケ發

七〇〇マニラニ向ケ發

NSD 電令作第五九四號

一本外日實施セル飛行機明戒情況不

明ナルニ敵機來襲情況ヨリ判断スル才

方面ニ來襲セル敵機動部隊ハ三群程度

ニシテダバオノ東乃至北東ニ〇〇哩附近ニ

在ルモノ如シ

今明日セブダ只シレガスピ方面敵來

作緊急

<p>九一三 第九五防空隊長</p>	<p>三十三特根司令官</p>	<p>襲撃ノ算アリ同方面所在部隊ハ後退セシメ ニスルト共ニ在泊艦船ヲ避浪(分散)セシムルシ 連綴基地隊銃及野戦高射砲砲台 位置変更完了。</p>
<p>九一三 第九五防空隊長</p>	<p>第三南道司令官</p>	<p>○八四〇敵小型機十数機北西ニ向フ 戦斗速報 ○九一〇ヨリ一六四〇迄敵クラマン戦闘機延ニ 艦爆延六六來襲(通過敵機延三十一機) 戦果撃墜ニ撃破ニ被害重傷 四名 軽傷ニ名 野高ニ入煙双眼鏡ニ使用不能 本日天氣晴朗ナルトモ密雲多シ</p>
<p>九一三 第九五防空隊長</p>	<p>第三南道司令官</p>	<p>○八〇〇ヨリ一六三〇迄敵艦爆延ニクラマン延 十九機來襲(天氣晴朗ナルトモ密雲アリ)</p>

<p>第九一四 第九五防空隊長</p>	<p>第三南遣司令官</p>	<p>戦果損害ヤシ 野高ニ五發ニ五 機銃一〇〇發</p>
<p>第九一八 第九五防空隊長</p>	<p>三十三特根司令官</p>	<p>戦闘速報 〇九四六ヨリ一四四〇迄敵グラマン戦斗機 十三機米龍衣之ヲ撃墜セリ人員兵器損害ナシ 深射砲機野高四發本日天気晴間ナルモ雲多クシ</p>
		<p>陸軍師団司令部ヨリ左ノ通報アリ 陸軍ビリヤク警備隊ノ大發ニ依ル探査ノ 結果十二日一六三〇頃ナルモツク西北方ヒリヤク所 沖合ニ海軍輸送船因九隻爆撃ヲ受ケ 沈没右船因遊難者四五〇名セフ島北方 マラカスクウ島ニ在リ海軍森岡部隊三十一名</p>

九一九 第九五防空隊長	第三南遣艦隊	遠山部隊一七。名員上丸五。名員東丸一七名 火秋四丸五名。名員生遣隊員二三。名員更ニ 七。島嶼最北端ハロニ部落北方方テト島 五。名員カレン三。名員第三隊丸白梅丸 乗員アリ。以テ避難者ノ内約三分一ハ 重軽傷者ナリ
九二一 三十三特根	第三南遣艦隊	一三。名員生遣隊員多ク。名員東丸上南ニ去ル 艦隊裁減中
九二二 多口ハニ派遣隊長	第三南遣艦隊	二二。口。丸。名員東丸タクロハニ署 一。本出隊到着少尉。下士官兵一三 二。五。名員東丸。十三。名員東丸。二六 三。本行方増光塔四方附近ニ砲台五事申 四。本隊中ニト一。名員東丸。見込
	三三特根司令官	至急

<p>九三三 三十三特根司令官</p>	<p>九三三 三十三特根派遣隊</p>	<p>三十三特根 電令作第一。號 等ニ意ヲ配備トシテ特令ニテ六期三十一日 以降毎日。五。〇。ヨリ。八。〇。迄第一配備 以後等ニ配備</p>	<p>作特緊急</p>
<p>九三三 バダグ</p>		<p>我東海面ヨリ砲撃ヲ受ク 二。三。 敵艦數隻ノモリノ如シ 二。一。 敵上陸ノ形勢ナキモ敵言中被害ナシ 二。二。 港後守止ム 二。二。五</p>	<p>作特緊急</p>
<p>九三三 バダグ ブーラン</p>		<p>六位ニ。度四。軒大編隊進行方向北。六三五 敵小型機進行方向西南（バダグ見張） 敵飛行機見ユ大編隊進行方向西南。七二。 敵艦上機一。多ク見ユ方面ニ向フ。七三五（ブーラン）</p>	<p>作特緊急</p>
<p>九三三 三十三特根司令官</p>	<p>の七三五</p>	<p>小型二機 中型二機</p>	<p>作特緊急</p>

九二四 隊長	九二四 隊長	九二四 隊長
<p>○七三八 中型八機 東ヨリセフ方向ニ向フ ○七五〇 更ニグラマンニテ敵機西南ニ向フ グラマン戦闘機ニ。機我交戦中。八一四 敵小型機十三機水上基地上空。八一七 小型機十三機進行方向南。八三六</p>	<p>敵小型機見ユ方位南東ニ向フ。八四三 グラマン戦闘機ニ機水上基地上空旋回。八五九 敵見ユ小型一。南ヨリ北。九一〇 敵小型機ニ。機東ヨリ西ニ向フ。八五〇 グラマン戦闘機飛行場銃撃中</p>	<p>敵大型機ニ進行方向北西ニニ。 大型戦闘機大隊準頭地区銃撃後。急去ル 敵大型機一小型三。上空。一二〇。</p>
	作時緊急	

三十三特報司令官

敵小型機三機見ユ方位北東進行方向南
一三〇五

敵小型機五機南ヨリ北東ニ向テ一三四〇

敵小型機三機東ニ向テ一三四四

敵小型機三機南ニ向テ進行方向南西五

敵機五〇北東ニ去ル・一六〇〇

單座機三機

〇八一五ヨリ一四〇ニ迄グラマン戦闘機及艦爆

延八十三機東龍長五キロ燒決彈二台投彈

後銃撃ヲセリ(通過延機投三三五機)戦果

被害ナシ

一六〇。現在飛行場増走路使用可能

野高發射機六八發(残彈二四三三發)

九二五
三十三特根司令官

スルマンバダグロニ殊
タタロバン派遣隊

見張報告ハ放送シタル後三十三特根ノ
了解ヲ求ムベシ

九二七
第九五防空隊長

第三南遣司令官

九月十二日ノ戦斗ニ依リ破損セル野戦高射砲
二門ハ砲身ヲミ使用不可能ナルクソ在マシラ附近
陸軍部隊ニヲ砲身ノ豫備品又ハ現使用不能
品ヲ以テ調査上何分ノ御配慮ヲ得度尚野
戦高射砲用彈薬ハ定數一内ニ。發ハ處
残高現存ニ五。發ニ付キ之ヲ補給方御配
慮得度

(註) 古彈薬品名

- 一八九式高射火銃信管
- 八九〇式高射火銃彈

九三八
第九五防空隊長

三十三特根司令官

コソリニ機北西ニ向フ一ニ〇ニ

九三〇
クワバン 永増隊長

三十三侍根司合官

敵機哨戒状況

一 時刻 一三〇〇頃

二 機種 機数 コンソリー乃至三

三 高度 七〇〇米

四 レイテ島東岸北出サマル島上空ニテ

西進レイテ島西岸南下

至急

1760

一 状 况

『タノロバン』方面対空戦闘に關する戰訓並所見

九月二十四日の八一五ヨリ一四〇七迄味方戦闘機ノ掩護皆無ニシテ完
全ナル敵機制圧下ニ於ケル連續八時間餘ニ亘ル熾烈ナル銃爆撃及
三挺機銃被撃下廣範圍ニ亘ル重要施設ヲ防禦セル対空戦闘
ナリ

ニ 彼 我 ノ 兵 力

(一) 『タノロバン』方面ニ來襲セル敵兵力

敵機初級機ニ艦載機並ハニ機ヲ外上空通過敵機三三五機 機種戰

闘機『グラマン』 F6F 艦爆『カータス』 SB2C 而シテ其ノ比率ハ概ネ

二対八ナリ

(二) 『タノロバン』方面ニ展開セル我軍ノ対空兵力

八八式野戰高射砲五門、二十五號機銃三基、十三號機銃十六基而

三 戰 訓

其展開位置、別圖如シ

- (一) 敵來襲準備
- (二) 我軍通信状況
- (三) 聖島島分散

今次空襲の際に敵機は最初、我航空基地を飛行機並に防空砲を奇襲
 シル後、主目標ヲ船舶、燃料、軍需品、食糧、兵舎、倉庫等ニ指向シタル
 モノ如ク、銃撃終了後、當島に設置建築物ニ三、五焼夷彈約二〇〇ヲ四我軍
 繼續隊急降下シテ投擲セリ。

九月八日ヨリ當島全兵力ヲ以テ兵器、彈藥、燃料、被服、食糧等
 ヲ分散格納セル結果十二日ノ空襲ニ當リ分散ノ意義大ナルヲ目前
 ニ認識セル為、更ニ椰子、鉄木、リーフ等ヲ以テ地下壕及掩体ヲ構築
 シ、細部ニ亘リ組織的ニ軍需品ヲ分散格納セリ。結果燒夷彈

攻撃ヲ受ケタル際モ被害ナク被害局限ハ概ネ完成域ニ達シタリ

(四) 機銃陣地ノ変換

防空火器陣地ハ地形及敵來襲状況ニ鑑ミ選定シ且敵ニ察知セラレソノ攻撃ヲ受クル前ニ陣地変換ヲ要ス。九月十日第一次対空戦闘ノ際第三陣地ニアリシ二十五耗單装機銃三基ハ執拗ニ滑走路急降下スル敵機ニ射撃ヲ繼續セルモ深夜ヲ利用シテ第一陣地ニ陣地変換ヲナシ大ナル効果ヲ擧ゲタリ

十五日新出撃セル三十三特報機銃隊(二十五耗單六、十三耗單二六)ハ先發隊下士官兵二十四名ニミナル爲當隊小隊長下士官兵ニテ十三耗單裝十四基ヲハ第二陣地及第三陣地ニ設営セリ十三日、十四日空襲ノ際第二陣地第三陣地ニ対空火器ノ設定ミアラザルコトヲ確認セシ敵機ハ二十四日滑走路襲撃ノ際百米ノ低空ニ急降下銃撃ヲナセリ不意ヲ打テシ敵機ハ慌テテ避退セシモ敵ニ機八十三耗機銃ノ集

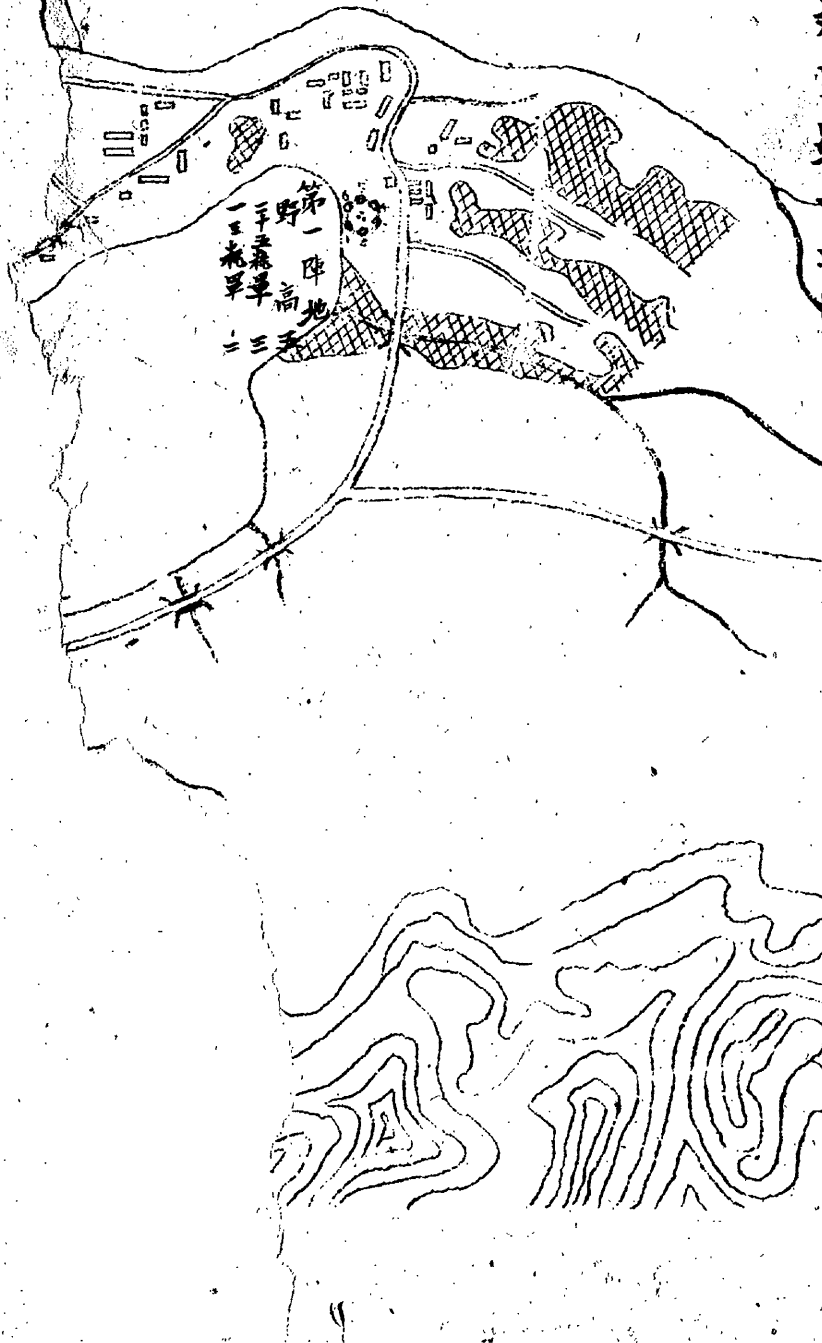
中冊ヲ谷ノ海中墜落セリ

1764

1764

九月二十四日対空戦要圖

湾ロドペッサ



1765